

ellipse

[エリプス]

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。

TOPICS

德音堂物語 3

ヘレン・ケラー講演会の思い出



ワ・タ・シ

深津知寿 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上で「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

読売・お茶大女性アカデミア21

EVENT

德音祭にいらしてください!!

INFORMATION

お茶の水女子大学 イベント情報
事務局よりお知らせ



さらに
しっとり、
香り豊かに。



毎日おいしい超芳醇



甘い香りに包まれて
まごころを伝えます。



上野風月堂
UENO-FUGETSUDO

株式会社上野風月堂

〒110-8539 東京都台東区上野1-20-10
TEL.03-3831-1000 FAX.03-3831-1116
URL <http://www/fugetsudo-ueno.co.jp>

STO 斉藤翻訳事務所

SAITO TRANSLATION OFFICE

代表: 斉藤 潤

技術翻訳全般承ります!

コンピュータソフト、コンピュータハード、電気、電子、機械などの技術翻訳(英日、日英)は、実績のあるSTO斉藤翻訳事務所におまかせ下さい。

- コンピュータソフト
- コンピュータハード
- 機械
- 電気
- 電子
- 半導体
- 自動車
- プラント

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-17ディアナコート恵比寿1206号
TEL 03-3446-1155 FAX 03-3446-1156 jun-saito@mve.biglobe.ne.jp
◆業務実績など詳細はホームページで <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~sto/>

翻訳者募集

業務内容の拡大にともない、優秀な翻訳者または下訳者を募集しています。TRADOS経験者も募集中です。履歴書をE-Mailにて上記アドレスへお送り下さい。

編集後記

秋は行事が盛りだくさん。どれに参加しようか迷いますね。今年は(も?)、德音祭(お茶の水女子大学学園祭)にお出かけください。11月12、13日です。伝統の味「ときわ汁粉」などおいしいお店や、ミュージカルにダンス、お笑いライブに講演会、今年もますますパワーアップした学園祭に期待してください。

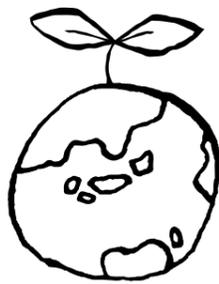
このページに広告を掲載しませんか? 次号は1月発行です。約4,000部発行、広告料金は20,000円/回、会員の皆様をはじめ全国の公共機関などに送付します。その他、ブックレットの広告も募集しておりますので、詳しくは事務局へお問合せください。

事務局

OPEN 月~金 10:00~16:00
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。

印刷物を通して環境を見つめ直しましょう
printing + ecology = pleasure



名刺・はがき・封筒・各種印刷
株式会社 文成社

〒112-0013 東京都文京区音羽2-2-2 アベニュー音羽111
TEL.03-3942-8688 FAX.03-3942-8689
E-mail: mail@bunseisha.co.jp
<http://www.bunseisha.co.jp/main>



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ

き いん どう
 德音堂物語 3

ヘレン・ケラー講演会の思い出



德音堂物語第3回は、昭和12年4月26日に德音堂で行われた「ヘレン・ケラー講演会」の思い出をご紹介します。盲聾啞の3つの障害を克服し、人々に生きる勇気を与えた『奇跡の人』ヘレン・ケラーを知らない人はいないでしょう。若い人にとっては「伝説の人」ですが、この講演会を德音堂で聞き、その感動を今も記憶にとどめている卒業生お二人から手記が寄せられました。

☒ 東京女子高等師範学校 昭和14年文科卒業
 ☒ 古沢 伸世 様

七十年近く前のイメージがおぼろに蘇ってまいりました。德音堂は懐かしい場所だけに、あれこれ思い出すうちに、三年生の時のヘレン・ケラー女史の講演の情景がありありと浮かび上がってきました。

広い場内に満席の人々が静まり返る中、壇上に導かれる大柄な女史の傍らに二人の方が付き添い、並んで卓の前に立たれると、近い方が手を伸ばし女史の唇の辺りに指を触れて、英語で、それをもうひとりの方が日本語で訳して行かれたのが一瞬奇異に感じられました。が、「ああ女史は三重苦の方なのだ」とはっと気がつきました。盲聾啞の中の一つでも堪え難い障害を、三つながら見事に克服し、大

学をご卒業、その可能性を引き出し培われたアニー・サリバン女史、御両親や周囲で暖かく助けられた多くの方々。それらの結晶とも言べき人間の可能性の素晴らしさを目の当たりにした感動が蘇ってまいります。それも平和なればこそでしょうか。

☒ 東京女子高等師範学校 昭和14年文科卒業
 ☒ 田 皐月 様

附属学校園の全生徒から女高師の生徒までみなで聞きました。下浦純一校長（いまでいう学長）のときでした。ポーリー・トムソン女史とヘレン・ケラー女史と一緒に德音堂に

入ってきました。ポーリー・トムソン女史がヘレン・ケラー女史の口を触ると、それをトムソン女史が英語にし、その英語を別の通訳が日本語にしていました。つまり、通訳を2回通して、私たちのもとにヘレン・ケラー女史の言葉が伝わりました。英語から日本語に通訳する日本人は2人いて、交代しながら通訳して德音堂の舞台の両上にある、天皇、皇后の写真は、その上に普段はある紫色の幕が上がり、写真が見えていました。みな、熱心に聞き入り、大変感動したことを思い出します。

◀ 昭和12年 ヘレン・ケラーの講演会



『奇跡の人』ヘレン・ケラー (Helen Keller, 1880~1968)

ヘレン・ケラーは米国南部・アラバマ州の小さな町タスカンビヤの町近くで、1880年6月27日に誕生しました。1歳9カ月のときに原因不明の高熱と腹痛におそわれ、医師の努力で辛うじて一命だけはとりとめたものの、光と音の世界から完全に隔離されてしまいました。

家庭教師サリバンとの出会い

しかし、両親は希望を捨てず、懸命にヘレンのためにできることを探し、1887年3月3日、22歳のアニー・サリバンを家庭教師として迎えました。ヘレン7歳のときです。

そこから、アニーの厳格で献身的な教育が始まり、それらは実を結びます。ヘレンは、さまざまな知識を習得し、強く希望した見えないとしても何とか語りたいと発声法を学びついに、言葉を発することができるようにもなりました。

障害者の救済を我が使命として

1904年ラドクリフ大学に入学し、優秀な成績で卒業後、自分に与えられた使命が障害者の救済にあることを自覚し、著

述と講演を精力的に行うようになります。アニー・サリバン女史は、1936年秋に70歳でこの世を去ります。その後、ポーリー・トムソン女子がヘレンの通訳を務めました。

3回の来日、全国各地で講演

日本には、1937(昭和12)年、1948(同23)年と1955(同30)年の3回来日しています。1回目の訪日の際に、德音堂で講演がありました。また、1948年の訪日の際は、敗戦で打ちひしがれた日本国民の熱狂的歓迎を受け、全国各地で講演して回り、これが2年後の身体障害者福祉法制定となって実りました。そして、1968年6月1日、88歳の誕生日を目前に逝去されました。

三重苦を克服した「奇跡の人」

「19世紀は二人の偉人を生んだ。一人はナポレオン一世であり、もう一人はヘレン・ケラーである。ナポレオンは武力で世界を征服しようとして失敗したが、ヘレン・ケラーは三重苦を背負いながら、心の豊かさで精神の力によって今日の栄誉を勝ち得たのだ」作家マーク・トウェインは、ヘレン・ケラーをこう賞賛し、彼女を『奇跡の人』と呼びました。



▲【雨の帝都へ、聖女かへる】
 (昭和12年4月26日 朝日新聞社)
 德音堂での講演予定が掲載されている。

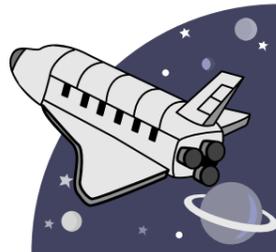


▲【頬に知る聴衆の熱】
 (昭和12年4月29日 朝日新聞社)



▲【皆さんの拍手を「足」にききます】
 (昭和12年4月30日 朝日新聞社)

第2回「読売・お茶大女性アカデミア21」開催 「女性と科学」を科学する



第2回「読売・お茶大 女性アカデミア21」(共催 読売新聞社 お茶の水女子大学)が2005年6月25日に開催されました。

第1部は、毛利衛氏(宇宙飛行士)と樋口恵子氏(評論家)の「未来館対談」(毛利氏は日本科学未来館館長、樋口氏は女性と仕事の未来館前館長ということで「未来館」つながりです)、第2部は、青山聖子氏(科学ライター)、國井秀子氏(株式会社リコー上席執行役員)、室伏きみ子氏(お茶の水女子大学理学部教授)、千葉和義氏(同大サイエンス&エデュケーションセンター教授)によるパネルディスカッションでした。

北村節子氏(読売新聞社)の絶妙なコーディネートにより、会場は笑いに包まれながら、『「女性と科学」を科学する〜向き?不向き?利用者?否定者?推進者?』という長〜いタイトルの講演会が進みました。中学生や高校生の参加もあり、熱心に講師の話に聞き入っていました。質問コーナーも設けられ、多くの手が挙がり、参加者の熱意が伺われました。「高校生のしっかりした質問を聞き、日本の未来は明るいと感じた」とのアンケートへの意見が印象的でした。この講演録がお茶の水ブックレット6として、11月に発行予定です。是非、ご覧ください。

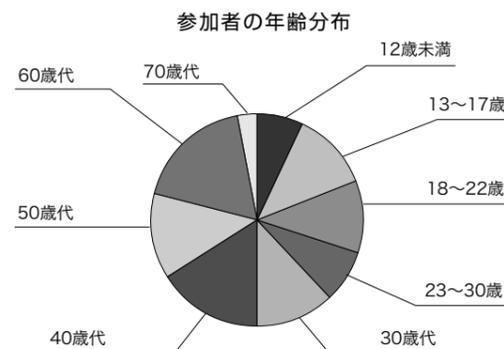
【意見など】

- ・男女でなく生命という視点から人間を見ていて、新鮮だった。
- ・ジェンダーにより過ぎず、男女の能力の公平な判断を前提としている点がよかった。
- ・たくさんの励ましの言葉をもらった。(多数) 例えば、「絶対成功するー毛利氏」「人生100年スローでよい、欲張って生きようー樋口氏」「科学は生活の基礎、お互いを尊重しようー青山氏」「大成功しなさいー千葉氏」「それぞれの感性で思いを遂げる生き方を一室伏氏」「職業を意識して上昇志向を一國井氏」
- ・生活の中に科学があると聞き、科学が身近になった。
- ・女性も科学に適性があるとわかった。子供に伝えたい。
- ・学生時代に職業意識がなかったのが残念だが、これから欲張って生きていきたい。
- ・大変勉強になった。もっと社会参加していきたいと思った。
- ・研究を続けていく励みになった。
- ・今からでも勉強したくなった。

アンケート結果

【参加した理由】

- ・樋口さんや毛利さんの話が聞きたかった。講師陣が魅力的だった(多数)
- ・女性は科学に向いていないとよくいわれるが、本当かどうか知りたかった(多数)
- ・お茶の水女子大学に興味があったから
- ・科学的に考えるとどうということか知りたかったから。



▲第1部 毛利衛氏と樋口恵子氏の対談



▲第2部 パネルディスカッション

微音祭 にいらしてください！！

2005年11月12日(土)13日(日)、お茶の水女子大学の学園祭「微音祭(きいんさい)」が開催されます。

今年のテーマは、「茶レンジャー〜微音祭の半分は野心でできています〜」。マスコット「おちゃわん一家」が決定しました！(右)

様々なチャレンジャーが登場するイベントのほか、マスコットを使った微音祭限定グッズ(携帯ストラップ、折りたたみミラー、あぶらとり紙)の販売もあるそうです。

お茶の水学術事業会では、11月13日(日)13時から公開講座「女性とアルコール」を行います。

内容は、

- ・酒に弱いか強いかがわかる「エタノールパッチテスト」
- ・酒についてのクイズ
- ・一タで見るお酒

などです。また、公開講座の内容とアンケートをもとに「女性とアルコール」という冊子を作成します。FAS(胎児性アルコール症候群)など、アルコールには女性特有の問題もいろいろとあります。お酒を楽しめるよう、正しい知識を持ちましょう！是非、皆様ご参加ください。

11月13日はお茶の水女子大学へGO！！

*これらの活動は、平成17年度アサヒビール未成年者飲酒予防基金助成事業の一つに採択され、活動費の一部に助成を受けています。

第56回 微音祭ホームページ

<http://kifc2005.hp.infoseek.co.jp/>

廣池英子 ジャズ・カルテット ライブコンサート

2005年11月13日(日) 15:00~17:00 お茶の水女子大学 学生会館ホールにて

入場無料

豪華共演者：藍澤エイジ (bass) 小山太郎 (drums) 緑川英徳 (a.sax)

「分子の電子構造理論」を研究する物理学者から音楽家へ転身した異色のジャズピアニスト廣池英子氏によるジャズコンサートのお知らせです。廣池氏は、お茶の水女子大学理学部物理学科を卒業後、東京工業大学で博士号を取得、結婚後も論文を次々と発表し、東北大学で教鞭をとっていました。が、定年を前に若い頃からの夢にチャレンジ、63歳でジャズピアニストとしてデビューしました！！

1997年にはファーストアルバム「Metastable State on E b₇」、1999年にはセカンドアルバム「Psychedelic Phonon Dance」、2002年にはサードアルバム「Sea and the Sky」を発表。ライブ活動と作曲に精力的に取り組んでいます。オリジナルにこだわる廣池氏のJAZZをLIVEでどうぞ！！



Eiko Hiroike

参加希望の方は、お茶の水学術事業会(03-5976-1478)までお電話ください。お席を用意します！

★連載「科学史散歩」は今号はお休みです。次号をお楽しみに！



お茶の水女子大学 イベント情報

2005年10月以降にお茶の水女子大学で開催される各種イベントのお知らせです。詳細は各主催者にお問合せください。

◆子どもと学びワークショップ

【主催】お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター 【共催】北区教育委員会 【詳細・申込み】子どもセンターのホームページへ<http://www.kodomo.ocha.ac.jp>

| 期 日 | イベント・講座名 | 参加費 | 備 考 |
|-------------------------------|---|-------------|-------------|
| 2005年10月22日(土) 14:00~17:00 | 子どもと学びワークショップ10月例会 主題：すてきに読もう・朗読と音楽の響きあい 講師：飯島晶子（朗読家） | 資料代 500円 | 【場所】北区教育未来館 |
| 2005年11月5日(土) 14:00~17:00 | 子どもと学びワークショップ11月例会 主題：一人一人のニーズに応じた特別支援教育 講師：高橋あつ子（川崎市総合教育センター） | 資料代 500円 | 【会場】北区教育未来館 |
| 2006年1月21日(土) 14:00~17:00 | 子どもと学びワークショップ1月例会 主題：連句で遊ぼう：対話で作る楽しい詩の創作学習 講師：宗我部義則（お茶の水女子大学） | 資料代 500円 | 【会場】北園まなび館 |

◆幼児教育未来研究会

【主催】お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター・同附属幼稚園・東京学芸大学総合教育科学系教育学講座幼児教育分野・同教員養成カリキュラム開発研究センター・同附属幼稚園【後援】文京区教育委員会 【詳細・申込み】子どもセンターのホームページへ<http://www.kodomo.ocha.ac.jp>

| 期 日 | イベント・講座名 | 参加費 | 備 考 |
|-------------------------------|---|-------------|-------------------|
| 2005年10月15日(土) 10:00~12:00 | 幼児教育未来研究会10月例会 テーマ：安全と危機管理 事例提供：原本憲子（江東区立元加賀幼稚園園長） 助言：渡辺正樹（東京学芸大学） | 資料代 500円 | 【会場】東京学芸大学附属竹早小学校 |
| 2005年12月17日(土) 10:00~12:00 | 幼児教育未来研究会12月例会 テーマ：生後8年間のカリキュラム 事例提供：大竹節子（品川区立二葉すこやか園園長） 助言：無藤隆（白梅学園大学） | 資料代 500円 | 【会場】お茶の水女子大学附属幼稚園 |
| 2006年1月28日(土) 10:00~12:00 | 幼児教育未来研究会1月例会 テーマ：教育評価 事例提供：（お茶の水女子大学附属幼稚園） 助言：河邊貴子（立教女学院短期大学） | 資料代 500円 | 【会場】お茶の水女子大学附属幼稚園 |

◆LWWC

【主催】お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター <http://www.ocha.ac.jp/koukai/saikyouiku/index.html>

| 期 日 | イベント・講座名 | 参加費 | 備 考 |
|----------------------------|--|-----|---|
| 2005年9月(一部) 10月~2006年2月 | LWWC「化学・生物総合管理の再教育講座」後期 後期講座が、一部の科目は9月から、大部分の科目は10月から開講されます。定員に余裕のある科目については開講直前まで応募を受け付けます。大学ホームページをご参照ください。 | 無料 | 【お問合せ】TEL 03-5978-5096 E-mail : koukai-q@cc.ocha.ac.jp |

◆男女共同参画学協会連絡会

【主催】男女共同参画学協会連絡会 <http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/> 【後援】日本学術会議(申請中) 文部科学省
【詳細・申込み】(社)日本化学会 男女共同参画係 電話 03-3292-6168 Email danjo@chemistry.or.jp 保育室：ご希望の方はお問い合わせください。

| 期 日 | イベント内容 | 備 考 |
|------------------------------|---|---|
| 2005年10月7日(金) 10:00~17:40 | 第3回シンポジウム 21世紀の産業を拓く男女共同参画社会 テーマ討論☒ 10:00~12:00 「産業界における女性の研究者・技術者を増やすために」 オーガナイザー 森義仁氏（日本化学会） 全体会☒ 13:00~ ◆特別講演☒ 13:25~14:55 長沼雅子氏（資生堂）「働き続けられる職場から、ともに働きやすい職場へ」 塩満典子氏（内閣府男女共同参画局）「科学技術分野における男女共同参画→行政の立場から」 | 小館香椎子氏（日本女子大）「多様な理工系女性の育成 一男女共同参画推進と大学の役割」 ◆パネル討論☒ 15:10~16:30 「産・官・学・男・女・真の共同参画社会を目指して」 司会 井上祥平氏（東京理科大学） パネリスト 浅川智恵子氏（日本IBM）辻 篤子氏（朝日新聞） 館かおる氏（お茶の水女子大学 ジェンダー研究センター） ◆報告・ポスター発表表・挨拶 16:30~17:40 他 【会場】お茶の水女子大学・理学部3号館 【参加費】1,000円(学生200円) |

平成17年度総会が開催されました

平成17年6月25日、お茶の水学術事業会総会が開催されました。審議事項は以下の4項目でした。

1. 平成16年度事業報告(案)について
2. 平成16年度収支決算(案)と監査について
3. 平成17年度事業計画(案)について
4. 平成17年度収支予算(案)について

これらは、全員一致で可決されました。また、参加された方から貴重な意見をいただくことができました。今後ともよりよい活動のため、皆様のご協力をお願いいたします。計画書などの詳細は、HPをご覧ください。

<http://www.npo-ochanomizu.org/jigyo/>

「お茶大ゴフル」好評発売中

「お茶大ゴフル」はご賞味いただけましたでしょうか？お土産に、記念に、会合にぜひお買い求め下さい。お茶の水女子大学生協で店頭販売しています。発送も承りますので、お茶の水学術事業会事務局までお申込みください。



通信販売いたします ※送料はお客様負担となります。

ご注文はメール・電話・FAXでどうぞ！
E-mail : info@npo-ochanomizu.org TEL&FAX : 03-5976-1478

助成事業について

社会教育の推進、男女共同参画社会の形成、子どもの健全育成を推進することを目的とした助成事業を行っています。助成を受けたい方は、事務局までご連絡ください。

講師斡旋について

市民講座や講演会の講師をお探しではありませんか？

お茶の水学術事業会では、お茶の水女子大学との連携により、講演会やセミナーの講師の斡旋をしております。ご要望に合わせて最適な講師をご推薦します。自治体主催の市民講座や講演会など、講師のご要望がありましたら、お気軽にお問合せください。ご相談料、ご紹介料はいただいておりません。

◆地方講演会共催のパートナーを募集しています◆

東京都以外の地域においても講演会を開催していきたいと考えております。共催していただける団体等がございましたら、事業会までご連絡くださるようお願いいたします。

お茶の水ブックレット

お茶の水学術事業会では、お茶大の学内で催されるさまざまな講演やシンポジウムなどの内容を学外のみならずにお届けするために、お茶の水ブックレットを出版しています。大学が発信する新鮮で貴重な情報を、お仕事や日常にどうぞお役立てください。



第1号「教育と平和—アフガニスタン女子教育支援シンポジウムから」緒方貞子氏へのお茶の水女子大学名誉博士称号授与式での記念講演・五女子大学学長によるアフガニスタン女子教育支援パネルディスカッション。

第2号「国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ」本田和子前学長の講演(表題)、土屋賢二教授の講演「お茶の水女子大学はどんな人間を生み出してきたか…被害者の立場から」を収録。

第3号「ライフワールド・ウォッチセンター」(在庫なし)センター設立記念シンポジウムでの記念講演を収録。名古屋市大名誉教授伊東信行氏、文科省 井上正幸氏、日本学術会議会長 黒川清氏 他

第4号「生命科学フォーラム」お茶大理学部研究者による生命科学最先端の講演集。「ストレス応答の生物学」「ゲノム解析…遺伝子診断と治療の扉」「糖鎖を操作して健康を守る」「インビボ核磁気共鳴…診断と治療への寄与」他

第5号「現代女性の恋愛・結婚・就労パズル」「読売・お茶大 女性アカデミア21」での講演とシンポジウムを収録。心理学者で評論家の小倉千加子氏の講演(表題)とパネルディスカッション。

1冊500円(税込・送料別)でお求めいただけます。メール・電話・FAXでご注文ください。最新刊については随時ホームページでお知らせしております。

TEL&FAX 03-5976-1478 info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org/booklet/>

